

はじめに

私は、市長就任後の「財政危機宣言」以降、行財政改革を市政運営の最重要課題に位置付け、2次にわたる行財政改革プランを策定し、全力を挙げて取り組んでまいりました。

市民の皆様のご理解のもと、これまでの不断の改革を通じて目標を上回る成果をあげるとともに、こうした改革の成果を子ども関連施策や、公園、道路、街路樹といった身近な施設設備の管理水準の向上など、さまざまな市民サービスに還元してまいりました。

しかしながら、急速な少子高齢化が進行する一方、本市では社会増を要因とした人口の増加が顕著なことから、多様化する地域の課題や市民のニーズに、今後もの確に対応していくことが求められています。

また、これまで緩やかに回復を続けてきた国内経済にも不安定さが見え始め、国の第2期の地方分権改革や歳入歳出一体改革の動向が不透明であるなど、本市を取り巻く行財政環境には依然として厳しいものがあります。

こうした中、限られた財源や資源のもとで、市民の皆様にご真に必要なサービスを実に届けるという本市の使命を踏まえますと、今後の市政運営においても、改革を継続していくことが何よりも重要でありますので、今後も手を緩めることなく取組を進めてまいります。

この「新行財政改革プラン」は、これまでの改革の基本的な考え方を継承しつつ、「公」と「民」の適切な役割分担による的確かつ安全な公共サービスの提供体制を構築し、行政分野における民間部門の活用の推進とサービスの質的向上を図るとともに、持続可能な財政構造の構築に向けた新たな「財政フレーム」を策定し、計画的な財政運営を行うことで、「減債基金から借り入れを行わず平成21年度に収支均衡を図る」という第1次改革プランからの財政運営の目標達成をめざして、改めて今後の改革の方向をお示ししたものです。

この新改革プランの取組を着実に推進し、安定的な行財政基盤を構築しながら、新たに策定した「実行計画」と「自治基本条例」とともに、引続き3本柱として川崎再生への歩みをより確実なものとし、改革の基本目標である「元気都市かわさき」の実現に向けて、全力で市政運営に取り組んでまいりたいと考えておりますので、一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

川崎市長 **阿部孝夫**